



おがたっ子



《めざす子ども像》
 「元気に登校、笑顔で下校」
 おもいやる子 【敬愛】
 がんばる子 【自立】
 たのもしい子 【創造】

【緒方小・緒方中 共通教育目標】 未来に向かって 生きる力を備えた 緒方っ子の育成

3月版

文責：佐藤 公彦

Tel.0974-42-3150

Fax.0974-24-4020

緒方小の誇れる6年生 卒業おめでとう！

3月22日、第14回卒業式が行われ、19人の卒業生が緒方小を巣立っていきました。

6年生になってコロナの扱いが変わり、修学旅行は4年ぶりの県外で、充実した2日間となりました。スマイル集会やチャレン集会、運動会で、どんな内容にすればみんなが楽しめるか、応援はどうすれば盛り上がるか、知恵を絞り、アイデアを出していきました。

縦割り班活動や掃除をする姿、はなまるハートの取り組みやあいさつ運動など、下級生へのやさしい言葉かけ、思いやりのある対応、率先した動きなども光っていました。

さらに、GONちゃん(iPad=タブレット端末)を使って、集会の説明を発信したり運動会の係活動で作業を効率化したり、授業の中でも、自分の考えをまとめたり友だちと意見交換をしたりすることはもちろん、自分にとって必要なタイミングで調べたり、教科書に書いていないことを調べて広めたりと、自在に活用していました。12月の「国重要文化的景観「緒方川と緒方盆地の農村景観」選定記念シンポジウム」では、これまでの郷土学の成果をつないで、緒方の魅力を発信することができました。たいへんすばらしい内容でした。

また、GONちゃん持ち帰りやネット接続についてのルールや気をつけることを、自分たちで意見を出し話し合い、守っていくことに取り組みました。前庭の芝生でボール遊びをすることについて、メリット・デメリットだけでなく、なぜ禁止されてきたのかを考え、安全への配慮を自分たちで作りあげ、芝生でドッジボールをするという願いを実現させました。

「6年生であっても一人ひとりが社会の一員であることを知り、自分たちの力で社会をよくできることを意識して、行動につながることを考えてほしい」「対話によって合意形成し、ルールをつくる経験をしてほしい」と私は常々思っていました。「自分ごととして考え、行動していけば社会を変えられる。変えることは楽しい」そのように感じたのではないのでしょうか。

緒方小学校がこれからもこのスタイルでいきたいと思わせる姿を卒業生は見せてくれました。私の期待以上にすばらしい「緒方小の顔」でした。

中学という新たなステージに立つ卒業生には、いろいろな人の生き方を学び、自分の本当にやりたいことを考えてほしいと思います。やりたいことが明確になれば、今日するべきことが変わってきます。卒業生の皆さんの今後の活躍を期待しています。



この一年、本校の教育活動に対し、常にあたたかく見守り、支えてくださいました市当局、緒方支所、緒方公民館をはじめ、放課後TRY・読み聞かせの皆様、登下校見守りの皆様、児童の学習や体験、安心安全にご協力いただいた緒方町の皆様、保護者の皆様に心から深甚の敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。